

「BSS115 の改定」

Mr. Pascal Deboodt (IAEA)

BSS は多くの国で使われており、その内容の安定化が必要であるが、ICRP の新勧告を受けて、2007 年に BSS の改定作業が始められた。これまでの作業経緯は、

2007 年 5 月	Initial Topical Draft Meeting
2007 年 7 月 16-20	ウィーンにてテクニカルミーティング (TM)
2007 年 10 月	RASSC/WASSC ミーティング
2007 年 11 月 26-30	ドラフトミーティング
2008 年 3 月、4 月	ドラフトミーティング
2008 年 5 月 13-16	ドラフトレビュー
2008 年 6 月	ドラフト 1.0

ドラフト 1.0 については 2008 年 6 月以降、1200 件のコメントが寄せられている。今週、RASSC のミーティングがウィーンで開かれており、このドラフトについて協議されている。今後、ディスカッションが必要な項目としては、線量拘束値の概念、ラドン、免除とクリアランス、用語や定義が挙げられる。まだ、ラドンについては最終的判断が出ておらず、近々、提案が出ることになっている。

具体的な変更点はパラグラフ 3.77、3.98、3.101、3.104 が挙げられる。特に、3.104 は、職業被ばくの年齢下限に関するもので、16 歳未満は不可となっている。

今後のスケジュールとして、2009 年 1 月に BSS 改定のための IAEA ワークショップが予定されている。

The poster features a blue header with the title "Revision of BSS SS115". Below the header, on the left, is a red book cover for the "safety series" titled "International Basic Safety Standards for Protection against Ionizing Radiation and for the Safety of Radiation Sources". To the right of the book cover, the text reads "International Basic Safety Standards for Protection against Ionizing Radiation and for the Safety of Radiation Source" and "Status of revision: draft 1.0". Below this, a box contains the text "International Cooperation with WHO, PAHO, FAO, ILO, OECD/NEA, EC, UNEP, ICRP, IRPA". At the bottom, there are logos for WHO, PAHO, FAO, ILO, AEN/NEA, EC, and UNEP, with the IAEA logo at the bottom left.